京城日報 朝刊
發行所 京城府中區太平通一丁目三十一番地 合資會社 京城日報社
印刷人 發行兼編輯人 高宮太平 / 平野雄

鐵壁の包圍網完成

南縣地區で痛烈な剔抉戰

[illegible]

……つゝあり、敵に與へた損害もすでに數千に上る見込みである

敵營長戰死

【湖南前線十一日同盟】敵第百五十師四十三團第一營長李郷は去る五日官嶺附近の夜襲戰においてわが猛攻を蒙り戰死したことが判明した

王揖唐氏參內

【東京電話】十一日來朝した國民政府委員王揖唐氏は十二日午前九時十分過ぎ宮中に參內、東車寄に天機ならびに御機嫌奉伺の記帳をなし、同十七分恐懼退下した

天嶮を突破猛進

皇軍の威力遺憾なく發揮

廿九集團軍擊滅戰

[illegible]

河南省肅清部隊綜合戰果

【開封十一日同盟】わが河南省地區肅清部隊の四月中における綜合戰果左の如し

交戰回數一三六、交戰敵兵力五三、〇一三、敵遺棄死體一、六七九、捕虜三、九〇五、鹵獲品小銃一、五六三、同彈藥五六、三七一、自動小銃一八、輕機九、重機二、手榴彈一、四四六、軍馬三一〇、軍服二、三〇〇、覆滅せる敵軍事諸施設トーチカ一〇、獲株崗一、被服庫一

蔣共匪團擊滅

蒙疆地區の戰果

【張家口十一日同盟】蒙疆地區における蔣共兩匪團はわが積極的討伐により逐次大損害を蒙り僻地に潜伏しせしめられてゐるが、〇〇部隊の四月中に收めた綜合戰果左の通り

[illegible]

徳山市、常徳を爆撃

[illegible]

李王殿下、〇〇航空隊を御視察

[illegible]

馬占山部隊を撃破

[illegible]

敵遺棄屍一千六百

ビルマ奪回企圖完全に粉碎

ブチドン攻略の戰果

【ラングーン十二日同盟】緬印國境インデン附近で敵英印軍の主力を殲滅したわが精鋭は引續き敗敵を追つて北進、網の目の如きクリークと人の通はぬジャングルを克服して八日マユ河畔敵の要衝ブチドンを占領し、敵が呼號するビルマ奪回の企圖を完全に粉碎したが、わが至妙なる作戰と萬難を物ともせぬ不撓不屈の猛追擊の前に恐怖狼狽の敵は支離滅裂、醜状を極め國境附近は目下大混亂を極めてゐるが四月十六日以降五月十日までの間に判明したブチドン正面の戰果でも次の如き數にのぼつてゐる

遺棄死體一千六百以上、俘虜百個、鹵獲品戰車および牽引車十(擱坐せるものを含む)大小火砲四十二門、自動貨車百八十二輛、小銃二百六十八、擲彈筒五、自動小銃四十六、輕機四十九、ガソリンその他多數なほ本戰闘間敵飛行機一機を地上火器にて撃墜、敵船艇一を擊沈、一を大破した、かくしてビルマルート再開を目指し躍起となつた鳴物入りの謂ゆる大攻勢もわが皇軍の前には鎧袖一觸、徒らにアラカン山脈の猛獸の好餌に供せられると いふ結果に終りわが精鋭はさらに印度の空を睨んで意氣軒昂たるものがある

經濟封鎖に重慶困窮

【リスボン十一日同盟】日本軍のビルマ地方の斷定によりビルマ公路が遮斷された結果重慶政權は完全に經濟封鎖をうけるに至つたが同政權の危機を打開するため英國政府はチベット政府と交渉、チベット國を通じ重慶向け輸送を開始するに決定したと傳へられる

チベット政府は事實上英國政府の支配下にあるので右提案を受諾、輸送の管理に當る模樣だが新チベット公路は要するに家畜の力によるほかはないから輸送力は全くいふに足りない

葉上將の一行歸國

【福岡電話】勝ち拔く日本の銃後の敢鬪ぶりを實地に視察するため豫て來朝中であつた中國軍事視察團長葉上將一行十一名は無事目的を果し十二日午後一時廿分福岡發空路歸國の途についた

荒鷲、濠洲(北部)を空襲

反樞軸護送船團を猛爆

【リスボン十一日同盟】メルボルン來電=西南太平洋反樞軸軍司令部は十一日次の通り發表した

一、日本航空部隊は濠洲北部を爆擊しさらに濠洲北岸沖合でも反樞軸護送船團を攻擊した

一、日本航空部隊はニューギニヤ南部に所在する反樞軸軍基地を爆擊した

メラウケ爆擊

【ブエノスアイレス十一日同盟】西太平洋反樞軸軍司令部の發表によれば日本航空部隊は十二日ニューギニヤ島のメラウケを爆擊した

時局の推移に即應

明朗闊達な教員養成を望む

全國師範學校長を招待 首相激勵の挨拶

【東京電話】東條首相は會議出席中の全國師範學校長を招待して十二日首相官邸に午餐會を開催、樺太北海道第一師範學校長以下各師範學校長六十四名、政府側より東條首相、岡部文相、內閣四長官、菊池文部次官ら出席し午餐のゝち午後一時過ぎ散會したが、席上東條首相は左の如き要旨の挨拶を述べ戰爭下師範教育の重責を擔ふ師範學校長を激勵、大東亞十億民族の中核たる日本人を養成するに相應しい明朗闊達にして率先垂範の性行に富む國民學校教師の養成を切望した

東條首相挨拶要旨

由來文教の問題といふものは一日一刻を爭ふといふ切實感がないと見らるゝ傾向なしとしないのであるが、これは最も戒心を要するものである、戰局は刻一刻と進展してゐる內外の情勢は、日一日と大きく轉轉してゐる、この時局の推移に即應して大東亞戰爭を完遂し大東亞建設を完成せんがためにはいよいよ世界に比類なき忠誠勇武の精神に溢れ、しかして大東亞十億の民族の中核たるに相應しき日本人を連續不斷に、しかも一日も早く育て上げることが最も肝腎のことと存ずる

この點は私の最近の中華民國、滿洲國および比島の訪問により特に感を深くしてゐる、教育制度の諸般の改正もこの觀點に立つてゐるのである、諸君は新制度における師範學校の初代の校長である、諸君は新たに發足せる師範教育に大いなる抱負をもつて臨まれてゐるのであるが、どうか只今の感激と熱意とをどこまでも持ちつづけ、その監督に徒らに從來の型にとらはれず精悍無比にして、しかも氣宇廣大なる大國民を養成するに相應しき明朗闊達にして率先垂範の性行に富む國民學校教師の養成に渾身の努力を致されんことを切望してやまない

優秀な日本軍

獨軍筋、ブチドン占領を讃嘆

【ベルリン十一日同盟】獨軍筋ではは十一日ビルマ戰線における日本軍の作戰の成功を讃へ次の見解を表明した

ビルマ戰線では過般の英軍敗戰後日英兩軍の動きは一時停止したが、英軍は自軍の敗北が補給の困難に基く偶發的な結果と稱し戰鬪繼續の意志を示し、一方日本軍はアラカン山脈から英軍を掃蕩するまで戈を收めぬ決意の模樣であつたから戰機再び動くことは明かであつた

そのうちに雨季が始まり作戰計畫の實施は頗る困難となつたので英軍が日本軍はもうこれ以上前進は出來まいと喜んだのも當然であつた、ところが日本軍は去る九日夜マユ河上流戰線の英軍重要陣地たるブチドンを占領し、英軍の抱いてゐた樂觀的見解をものの見事に粉碎してしまつた

かくて日本軍は遠からず英軍をビルマ國境外に放逐するであらう、さうすれば日本軍の印度進擊の態勢は完全に整ふが天候の條件の惡い現在印度作戰が行はれる可能性は餘りない、いづれにしてもこれまでの戰ひは日本軍が氣候的條件に堪へる點でも英軍より優秀な事實を證明してゐる

大西洋に魔の墓穴?

反樞軸國商船隊戰々兢々

【ジュネーブ十日同盟】反樞軸側躍起の對策にも拘らずドイツ潛水艦隊は活躍季節の到來とともに日毎に猛威を逞しくしてゐるが、トリビューン・ド・ローザンヌ紙は十日右に關し大西洋には反樞軸がドイツ潛水艦に全ぐ手も足も出ない水域が存在する事實を暴露して次の如く報じてゐる

大西洋中部には反樞軸商船隊にとり墓穴とも呼ばれるべき水域が存在し、反樞軸空軍はこの水域において商船護送の任務を果すことは出來ない、米國の長距離爆擊機と雖も米國アイルランド乃至スコットランド海岸から七百哩以上には長翔が出來ずかくて六百哩の間隙水域が非護衞の狀態に置かれてゐる、この間隙水域において獨潛水艦は縱横に猛威を振ひ米英船員をして魔の水域として戰慄せしめてゐる

ゲーリング元帥 ローマ訪問か

【リスボン十一日同盟】十日夜ローイター電がモスコー放送として傳へるところによればゲーリング元帥が突如ローマを訪問、ムッソリーニ首相と長時間にわたり協議したといはれる、ゲーリング元帥はついでナポリに赴き同地にある獨軍司令官とも會談したといはれる

ベンガル州東南部を空襲

【イスタンブール六日同盟】ニューデリー來電=印度派遣軍司令部は六日午後『日本航空部隊が五日早朝ベンガル州東南部の英軍飛行場一個所に來襲、損害を被つた』旨發表した

次期作戰を協議か

今次米英會談の內容

【ストックホルム十一日同盟】英國首相チャーチルがチュニジヤ戰局の一段落を機會に、ロンドンを留守にしてゐたことはスウェーデン各紙特派員が十日以來報道してゐたところだが、ロンドン來電によれば、同首相は十一日午後三時五十分ワシントンに到着、今後の作戰計畫についてルーズベルトと會見する段取と傳へられる、すでにカサブランカ會談において反樞軸軍は九ケ月以內に歐洲に對し反攻を斷行する方針を決定したが、右會談後英國下院における報告演說で、九ケ月の期間が滿了する以前に再び反樞軸國の代表が會議を開催、對策を協議する旨すでに言明してゐたところだ、從つて今回の會談においては

一、次期作戰に對する協議

一、ソ、ポーランド兩國の紛爭調停

一、スターリン議長との會見企圖などについてチャーチルとルーズベルトが種々懇談を遂げることと見られる

寄合世帶の苦しい會談

【ブエノスアイレス十一日同盟】チャーチルは英國陸海空三軍の首腦を帶同してワシントンに乘り込んだがユーピーならびにロイテル電報はしきりに會談の重要性を說き『今回の會談で第二戰線結成に關しても協議されるだらう』と述べてゐる、特にカサブランカ會談における歐洲軍點主義は重慶政權ならびに濠洲政府の非難の的となつた事實にかんがみ重慶向のユーピー電報は『太平洋における反攻作戰も恐らく檢討されるだらう』と報道してゐる、しかしスターリン議長は容易に御輿をあげない模樣で、ロイテル電報はつぎの如く述べてゐる

スターリン議長がワシントン會談に參加するのか乃至に參加を要請されてゐるかどうかも判らない、しかしカサブランカ會談と同樣會談の經過については逐一スターリン議長と蔣介石とに通報されることになろう

第一次會談終了

【リスボン特電十二日發】ワシントン來電=米政府は十一日夜英首相チャーチルがルーズベルトと會談のためワシントンに到着、既に會談を遂げたと發表した、チャーチルは陸軍及び海軍兩專門家を帶同してゐる旨報ぜられてゐる

土への壓力加重か

チユニジヤ戰の後に來るもの

反樞軸の作戰動向

【ストックホルム十一日同盟】チュニジヤ戰線の樞軸軍は目下マウアン半島の一角に據り悲壯な抗戰をつゞけてゐるが、戰局の現狀から推測して同地區における樞軸軍の抗戰も最早時間の問題に過ぎず『來るべき歐洲戰局に如何なる樣相を呈するか』が現在最大の問題である

ロンドン來電によれば目下ロンドンではトルコ、スペイン兩中立國をはじめバルカンに近く何らかの變化が起るだらうとの噂が流布されフランコ總領がすでにスペイン領モロッコを訪問したとの說や、歐洲戰局今後の進展に關ししきりに希望的觀測を下してゐる模樣だ、もつともこれらは單なる流說に過ぎないが十日西亞各地の英國軍政首腦がカイロで軍要會議を遂げてゐるとの報道は反樞軸軍の新作戰を示唆してゐると見られる

カイロ來電によれば同會議には西亞駐屯英軍總司令官ウイルソン、マルタ總督ゴート、イランイラク軍司令官パウナルをはじめ西亞各國駐劄の英國大公使が出席してをり、戰局の新段階に伴ふ補給の問題および地中海作戰につき新たな檢討が加へられてゐると解される

一方チュニジヤ戰が終了した場合考へられることは、第一に反樞軸軍が船腹の節約を圖ることで、ロンドン來電によれば地中海における船團護送の安全性を確保すれば相當の船腹を節約することが出來るといはれる、第二は反樞軸軍が西亞駐屯軍に對し多數の增援隊を派遣し、またソ聯に對しても兵員、物資を增派出來ることであり、第三にはトルコに對する反樞軸國の壓力が加重されよう

樞軸軍が南歐洲一帶に鐵壁の防禦線を構築してゐる現狀にかんがみ反樞軸軍はトルコ領土を通過してバルカンへ侵入するだらうとの豫測も傳へられるが、以上の場合ソ聯の意嚮を無視することは出來ない、バルカンに對する英國勢力の進出を歡迎しないソ聯に對し英米兩國政府が以上の新作戰を敢て展開出來るかどうかは頗る疑問といふ外ない、現在南歐一帶に配置されてゐる樞軸軍は著しく兵力を增強し若し反樞軸軍が上陸作戰を敢行すれば忽ち甚大な打擊を蒙り少くも一年以內には新しい戰機を摑み得ない狀態に陷るだらうといはれてゐる

アトリー、下院で戰況報告

【ストックホルム十一日同盟】英國副首相アトリーは十一日下院においてチュニジヤ戰局につき報告し次の通り述べた

作戰開始當初[illegible]の遲々として進まぬを非難する聲が擧げられたが、これは長路の補給を維持する困難を知らぬ言であつた、作戰當初戰果は徐々たるもので あつた、反樞軸軍は苦難の戰鬪を經て山岳地帶の樞軸軍を壓倒してのちやうやく最後の決戰を開始することが出來た、この間樞軸軍の頑强な抵抗が持續されたことは忘れてならない、ビゼルタ、チュニス間の戰鬪は九日朝終結した、樞軸軍部隊の抵抗は依然頑强を極めてゐるが、チュニジヤ作戰の最終幕が今後どのくらゐ續くか、樞軸軍は果してチュニジヤを撤收するか、あるひはこれを續けるか、またマウアン半島を遮斷されるかといふことは未だ瞭々と豫斷を許されない、確實に云へることは反樞軸軍のためマウアン半島を遮斷されしかも反樞軸海空軍が制海權を確保してゐるため樞軸軍の機會はもはや去つたといふことである

獨側の反駁

【ベルリン十一日同盟】獨軍當局はチュニジヤ作戰がいまだ終結せぬため正確な資料乃至數字に基く總決算を行ひ得ずといふ建前から英國副首相アトリーの先走つた戰況報告演說に對しいまだ公式に批評を加へてゐないがドイツ軍事消息筋は十一日次の見解を表明した

一、アトリーは反樞軸軍相互間および陸海空軍間の緊密な協力ぶりにつき喋々してゐるが、フランス傀儡政權をめぐる米英兩國の反目抗爭は論外としても、チュニジヤ作戰開始當初英米兩軍間になんらの協力がなかつたため米國軍が大敗を喫した事實を忘れてゐる、陸海空三軍の水も洩らさぬ協力ぶりはポーランド、ノルウェー、クレタなどの作戰に見られる如くむしろ樞軸軍の本質的特徵である

一、アトリーは英國軍の損害を認めた際ごく最近の作戰における數字をのみ擧げアフリカ作戰開始以來の損害は殊さらに無視してゐるが、樞軸軍の猛反擊により多大の損害を被つてゐる事實は蔽ひ得ない

一、アトリーは樞軸軍のチュニジヤ脫出の機は既に去つたと稱してゐるが、樞軸軍は脫走を企圖してゐるどころか最後の一彈を射ちつくすまで抗戰する決意を固めてゐるのだ

一、樞軸軍にとりアフリカ作戰の意義は僅か五ケ師團の兵力をもつて六ケ月間の長期にわたり反樞軸軍をチュニジヤ戰線に釘付けにし歐洲作戰を遲延せしめたにあつた、その間歐洲の地中海沿岸の防備は磐石の固きにある從つて反樞軸軍が今後歐洲進攻を企圖してもすでに後の祭といふほかはない

米下院罷業彈壓法案を可決

【ブエノスアイレス十二日同盟】ワシントン來電=米國下院軍事委員會は十一日罷業彈壓法案を可決本會議に廻附した、同法案は政府により接收された工場における罷業の禁止および戰時勞働局の權限強化を規定してゐる

……してゐると見られるがこれにより各工場の管理[illegible]とゝもに高等官吏の全權を掌握し、勞働者の雇傭解雇、勞働條件、食糧給與の改善などの衝に當るわけであるまた各地工場の監督部には規定違反者に對する處罰權が附與されたといはれる

翼政會の新陣容決定

【東京電話】國內決戰態勢の完璧化を目標に斷行された翼贊政治會の大改組は十一日いよいよ本決りとなつたが、その方向は從來より要望され來つた翼贊政治會機構中その總務政治部面の強化に重點が指向され政治力結集強化の方向に劃期的なる進步を示し、それがため今回新設に決定せる總務會々長ならびに政調會長および從來の二名を三名に增加せる副會長の人事は各方面より深き關心を持つて注目されてゐたが、十二日夕刻左の如く發表された

- 總務會長 前田米藏
- 政務調査會長 金光庸夫
- 副會長
  - (貴族院側) 村瀨直養
  - (衆議院側) 前田房之助
  - 三浦一雄

內政部長會議

【東京電話】內務省では來る六月一日より實施される市制町村制ならびに府縣制改正に萬全を期するため十七日より三日間內務省に全國內政部長會議を開催し過般の決戰議會を通過成立せる地方制度改正など諸法律およびさきに閣議決定せる吏員の待遇改善などに關し趣旨を說明するとともに、これが運用につき當局の意向を徹底せしめることになつた

行政查察第一日

【東京電話】生產增強の實態を把握すべく十二日より十九日にわたり實施される行政查察の第一日は十二日午前七時より首相官邸に開催、鈴木行政查察使および山田秀三內閣調査官以下の隨員ならびに各省關係官參集、まづ鈴木査察使より挨拶あつて直ちに商工、厚生、農林、遞信、鐵道各省關係官より行政查察實行に關する所管事項の從來の經過と今後の方針につきそれぞれ說明が行はれ、正午一旦休憩午後一時再開し同六時過ぎ散會

全工業を共產黨に移管

ソ聯軍需品增產の法令成る

【ストックホルム十一日同盟】モスコー來電によればソ聯人民委員會議は共產黨中央委員會と連署で全工業特に軍需工場全部を直接共產黨の管理下に置く旨の法令を十一日發布したといはれる

以上の措置は軍需品增產の第一要件たる勞働規律の伸縮と工場管理上の官僚主義を打破除去を目的と……

社說

海軍特別志願兵の途拓く

一

政府は十一日の閣議において朝鮮同胞及び台灣同胞に對し海軍特別志願兵制度を新設することに決定、十二日これが發表を見た。想へば昨年五月九日、朝鮮同胞に對する徵兵制度が閣議決定してより正に一年、皇國臣民たるの光榮に浴せる半島同胞の感激はなほ未だ新たなるものが[illegible]に多年の宿願成つて海軍特別志願兵施行の榮譽を擔ふ、蓋し半島同胞の歡喜と感激こそ想像に餘りある、我らまた、心から慶祝の意を表したい。

昭和十三年陸軍特別志願兵制度生れてより本年で六年目である。この間半島青年の皇民錬成は年と共に昂揚され、兵役に對する熱烈なる赤誠は日を逐つて凝固し、これが志願者數は逐年激增の一途を辿りつゝある。幸ひにして念願叶ひ、許されて志願兵となれる青年はよく激烈なる錬成訓練に堪へて、何れも優秀なる成績を以つて業を終へ、出でては戰場に勇戰奮鬪、自ら第一線に挺身して、拔群の偉功を樹てつゝ、遂に護國の鬼と化せるものも二三に止まらぬ。まことに皇國の神兵として恥かしからぬ擧措といふべきである。

二

而して明昭和十九年度を期して施行せられる徵兵制度こそは實にこの志願兵制度を通じて半島青年が披瀝せる愛國の至情に對して天が與へたる賜ともいふべきであつて、半島同胞がよく統治の根本精神を理解し、ひたすら皇民として修錬に努め、一視同仁の聖旨を奉戴して、皇國日本の理想たる八紘爲宇の聖業完遂に貢獻し來つた結果に外ならぬ。而して今や大東亞戰爭は愈々決戰段階に入り、前線銃後を通ずる必勝不敗の決戰態勢に聊かの間隙も許されざる重大場面に直面してゐる。この間に處して、半島同胞の殉國精神はいよく燃えたち、決戰に突入せんとする氣概はますく高きものがある。この秋に當り海軍特別志願兵の途が拓け、光榮ある皇國海軍の一員となり得る日の近からんことがこゝに確約されたことはたゞに半島同胞が海洋の第一線に國防の重責を擔ふ資格を與へられた光榮に止らず、朝鮮統治が最早理想の域に達したことの證左に外ならず、その意義は、蓋し深く大きいものがある。

三

由來朝鮮民族は海洋史に比較的華々しき記錄を殘してゐない三方海洋に圍まれながらなほ海洋思想に乏しいのは決して海人としての素質に缺けるところがあるわけではなくまた海兵としての資格に缺けてゐるわけではない。古來海洋に活躍するの機會に不幸にして惠まれて來なかつた爲めである。朝鮮の歷史は曾つて半島同胞の祖先が海軍を擁してゐたことを立證してをり大和民族と共に海外發展の記錄を少からずとゞめてゐる。海洋民としての素質はその血脈の中に脈々として秘められてゐることを我々は信ずるのである。まして、最早完全なる皇國臣民となれる今日、日清、日露兩戰役に於ける帝國海軍の輝々しき戰歷に次いで、今次大東亞戰爭に於ける皇國海軍の赫々たる大戰果を目のあたり凝視せる半島同胞にとつて、必ずや海は男の行くところ、傳統ある帝國海軍への憧憬と期待は蓋し大なるものがあらうと思はれるのである半島同胞たるものは よろしくその感激を以て海軍志願兵制度の精神を理解し、光榮ある海軍軍人としての資質錬成に今こそ精進すべき秋である。

擊沈百四十萬噸

伊潛艦 開戰以來の戰果

【ローマ十一日同盟】ガイダ氏がジョルナーレ・デイタリー紙上で傳へるところによればイタリー潛水艦は歐洲戰爭開始以來反樞軸船百二十三萬四千九百卅一トン、軍艦十六萬七千九百七十四トンを擊沈したといはれる

伊潛水艦、反樞軸補助艦を擊沈

【ローマ十一日同盟】リアナツア中佐の指揮するイタリー潛水艦はジブラルタル海峽を潛航、ケープタウン港外十數哩の海上まで遠征して反樞軸側補助艦アルゴ號(五、五五〇トン)を擊沈した

獨空軍大擧活躍

【モスコー十一日同盟】ソ聯情報局は十一日特別公報をもつて獨空軍約二百機がロストフ、バタイスク兩地區を爆擊した旨發表した

十六日間南海漂流記【上】

大膽 敵の孤島へ上陸
スコールが生命の水

【南太平洋戰線○○にて小野田、佐藤特派員十二日同盟】南太平洋における敵米英の必滅を期す皇軍將兵の戰鬪は瞬時も緩むことはないが、○月○日ニューギニヤの一角に蟠居する敵を目指して南海を行くわが輸送船が來襲の敵機群のため無念にも沈沒、しかも敵地の島に辿りつき敵來らば叩き斬る決意で一同悲壯な覺悟を固め、あるひは敵快速艇の船尾にはためく星條旗を尻目に燃祭と鬪魂をとり、また敵機（空の要塞）に發見されポートすれ／＼までに急降下して來た際も適切な處置で危地を脱するなど、雜草を食べ、スコールの水を飲みながら永びたしの磁石一つを頼りに漂流した記録が秋庭太郎大尉より齎された、以下『南海漂流十六日間』の貴重な手記である

秋庭大尉の手記

漂流者に銃撃の雨

○月○日、けふは目的地に到着豫定だつたので總員の大半は上陸準備に忙殺されてゐた、九時すぎ本船の遙後方海面上から爆音が轟くと同時に編隊の機影が水平線上に望見された、敵地も間近いこと故

敵機 であることを直感した、敵編隊はぐん／＼迫る、約一千メートルの高度でボーイングが約三十機、これに戰鬪機、艦上爆擊機凡そ二十機だ、本船の機關部目がけて爆彈を落した、火災が起つた

自分は○○名の兵を掌握して總員乘艇と命令一下海中に飛び込んだ、燃ゆる本船に對し敵戰鬪機が機銃掃射を浴せかけた、海面で部下を集めた時すでに機銃掃射で○名が負傷してゐたので各自持參の竹筏に收容、また本船を離れて三十分も經つたときまたも戰鬪機二、三十機が來て漂流者に銃擊を加へた、これはいかんと直ちにかたまつてゐた自分以下○○名の兵を散開させ機銃掃射を避けた

自分は一片の板に掴まつてゐたがまはりにはまだ○名の兵がゐた、この兵は海に浸つてゐても元氣よく絶えず軍歌を高唱したが、國旗の

俚謠 も歌つてゐた、夕方近くなつていつの間にか南の方に流されてゐた、と同時に朝食以來何も食べてないので空腹を覺えた、軍刀と拳銃と水筒だけを持つてゐた、自分は兵が勸める海水浸しの

乾麺麭もどういても食べる氣にはなれない、九時間も海中にゐると手が白ちやけて血の氣がなくなつて來た

すると海容の中に前方五百メートルの距離であらうか折疊式ボートの前半分がぽつつり浮んでゐるので泳いで行くとこれはまた二十名も乘せたらただ浮くだけだ、それでも海中よりは增しなので乘り移つたが結局どこから集まつて來たのか○○名が乘つた、オールもないのでその儘またほも南へ南へと潮の流れるに委せて漂つた、兵の中に夜光磁石を持參してゐたのが一名ゐたのでこれが唯一の羅針盤だ

島影を望見す ○月○日漂流二日目の明方、視界に入るのは水平線のみ、○月○日（三日目）食糧皆の分を集めると米

一升 に鱈の罐詰が六、七個あとは海水でぐちやぐ／＼になつた乾麺麭だけ、これらには當分手をつけないことにした、幸ひところであらうかぽつかり島が方々にかすんで見えたが、島を望みつゝもただ無慰に見送つてゐるに過ぎない

間もなく二三千メートル前方で輸送船に搭載の四十二人乘ボートを拾つた、誰も乘つてゐない艇内に敵機の銃擊を受け貫通銃創の一名の兵長の戰死體があつた、われわれは戰死者の部隊號と姓名を控へて懇ろに水葬にした、思へばこの兵長が一同を救つてくれたわけだ

艇内には航海用の本格的な磁石がついてゐたほか水槽もあつた、そこに二寸ほど油臭い清水が溜つてゐた、これが唯一の飲料水なので配給係を定め一人一日分として

水筒 の蓋に二杯と決めた、また乾麺麭の空罐もあつたので、これで二本のオールを拵へ島を目がけて漕ぎに漕いだ

○月○日（四日目）まだ島影は遠方なのでがつかりした、幸ひ風が島に向つて吹いてゐたから兵の個人用天幕二枚を帆とした、之でぐん／＼島の方へ進んだ、近づくにつれ二千メートルほどの山を背にした大きな島で薄く立ち上る煙も見えたから無人島でないことがわかつた

○月○日『五日目』無人島でないことがわかつても敵地かどうか判明しないが運を天に突込んだ、到着したのは夜が明けてから六時間たつた頃だらう、島の汀附近は一面砂地だつたのでその上まで突込んだ誰もが

疲れ てゐるに拘らず敵に發見されぬやう雜草など刈取つては艇に被せて隱蔽し、それから何もする氣力などなくどつと倒れるやうに寢た

戰ひの海へ今ぞ征く

あす・感謝奉告祭と宣誓式

半島に海軍特別志願兵の歴史的な光榮、それがしかも徵兵制を目睫に控へて海に、陸に、空に赫々不滅の大勳を輝かせてゐる秋、誰一人として感激せざるであらう、二千五百萬蒼生は衷き一視同仁の皇恩の鴻大さに感泣して一死報國、水漬く屍たらんとする決意を固めたのだ、總力聯盟ではこの聖なる一大制度の公布を記念し盛りあがる二千五百萬の赤誠を披瀝せんと京畿道、京城府兩聯盟と共催、盛大な記念行事を行ふこととなり、十四日午後二時半から朝鮮神宮大前で感謝奉告祭、ひきつゞき同三時から軍鐵殿南庭で宣誓式を擧行、當日は小磯總督、板垣軍司令官、田中政務總監以下軍官民代表者一萬餘名が參列、國民的感激を初夏空高く昂揚するが、この日全鮮の津々浦々は國旗を掲揚して奉祝、全鮮各道廳所在地でも京城に呼應して感謝奉告祭並に宣誓式を擧行

これに準じて各府郡邑面などでもこの日を中心に最近の機會において祭典、式典を嚴肅にあげることになつてゐる、なほ京城における感謝奉告祭と宣誓式典は左の順序で執り行ふ

感謝奉告祭 ▲修祓▲獻饌▲齋主祝詞奏上▲總裁玉串奉奠▲京畿道聯盟會長、京城府聯盟會長▲參列者玉串奉奠（朝鮮軍司令官、鎭海警備府司令長官、李王職長官、貴族代表、撤饌、一同退下

宣誓式 ▲開式▲修祓▲神宮拜禮▲宮城遙拜▲國歌奉唱▲必勝祈願▲總裁告辭▲宣誓文朗讀（伊東致昊氏）▲感謝電文決議▲祝辭▲海征かば齊唱▲皇國臣民ノ誓詞▲聖壽萬歳奉唱▲閉式

世紀の感激に沸く

總督府發表の劇的光景

『只今内閣情報局より左の如き重大な發表がありました』……一片の紙を手にした江口總務局長の口をついて流れ出る一言一句は緊張し切つた部屋の周圍を孺るがす、『政府は十一日の閣議において朝鮮同胞及び台灣同胞に就き海軍特別志願兵制を新設し』……昭和十八年五月十二日午前十時卅分、偉大なる哉この一瞬、何んといふ歴史的な

救護演習御觀覽

各宮妃殿下

【東京電話】いざ空襲といふ時はこのやうに隣組防護團、學校報國團が活躍する――日本赤十字社では目下同博物館で開催中の救急看護展の内容をさらに一般に熟知させるため十二日午前同社前庭で實戰さながらの救護演習を行つたこの日丁度御遊水曜に行はれる同社總裁特別作業に御來臨遊ばされてゐた高松宮妃、三笠宮妃、伏見宮博義王妃、久邇宮大妃、梨本宮妃、東久邇宮妃、李王妃、李鍵公妃、李鍝公妃の各日赤篤志看護婦人會名譽會員の各殿下には定刻御揃ひにて會場に台臨あらせられ東部軍々醫部附鈴木三藏軍醫大尉の總指揮のもとに觀兜、防空衣姿も凛々しく愛宕、兩國兩警防團、日立龜井戸、日立航空大森、三井各工場特設防護團、府立第一、第三各高等女學校報國隊、東京市青少年團女子部および銀座四丁目町會防空群が展開する一糸亂れぬ搬架操法止血法、三角巾使用法、人工呼吸法、綜合演習を御覽遊ばされ、正午御機嫌麗しく御歸還遊ばされた

掲げよわれ等の軍艦旗

半島同胞にも帝國海軍の偉大なる歴史と傳統とを繼承すべき任務が課せられた、本年度から海軍特別志願兵制度が新設されたのだ、光輝ある海軍記念日を前にして――海へ、海へ、黑潮を乘りきつて堂々進攻する帝國海軍艦艇へ、鐵石の身を把持した半島同胞の乘組を待つ日は近い、いよ／＼海國男兒、行け七つの海へ――半島同胞へ新に與へられる第一線の重任を禮讚して次に太平、印度兩洋海上の雄、帝國海軍の戰歷に『世界の海軍』として自他共に許す不動の地位を確立しつつある皇國海軍の概觀を述べてみよう

蒸汽船たつた二杯で　夜もねられず

嘉永六年浦賀の沖に錨いた黑船は德川三百年の鎖國の夢を玻璃の如くうち碎いた、狼狽顚倒した幕府が品川に砲場を築いて正視した太平洋には早くも歐米各國旗が翩翻と潮風に吹かれてゐたのである

海 を忘れた國は亡んでゐる、かくて維新前夜の國内輿論は御攘夷から開國攘夷の積極性へと大勢を押し進め海軍を持たない國の悲哀、古來から海に親しんだ國は榮え、海を疎んじた國は衰へ

ペルリ來航から七年目の萬延元年幕末の英傑勝海舟は海防の急務を唱へて海軍の創建に心魂を碎き遂に軍艦咸臨丸を率ゐて太平洋を越えた、北米大陸の彼岸に翻へつた大日章旗は鎖國日本から海國日本への一大飛躍を力強く表象したのである、やがて王政復古と共に『天皇の海軍』として新生する素地は實にこの時に作られたといへよう、德川三百年の惡夢から脱した日本の國運が太平洋に堂々乘り出した帝國海軍と共に僅か七十年にして一大成長を遂げその國威を世界最强の一に列せしめるまでには、海に生き海を制した、天皇の海軍があつたればこそであつた、偉なるかな帝國海軍、壯なるかな皇國海軍！

その日本海軍は今やアリユーシヤンから赤道遙かソロモン諸島の彼方まで南北五千浬、太平洋の涯から印度洋の

涯 まで茫洋一萬浬に及ぶ古人が夢想だにし得なかつた大戰場に於て醜敵米英が世界に誇つた海軍を海に完敗せしめてゐるのである、日本の海軍は遂に世界の海軍へと旭日の如く大きな威武を輝かせて今日なほ不敗の歴史を新たにしつゝある、この海軍あつて日本は磐石、大東亞共榮圏また礎を安んじて新アジヤの建設にいそしんでゐるのであるが、帝國海軍は、そもいつの日に發足しどんな歴史と傳統を堅持して來たのであらうか――

大東亞に威容嚴たり帝國海軍＝海軍省許可濟第百一號

肇國に"神武の舟師"

輝かしきその淵源

……◇……

そも／＼國軍としての組織ある帝國海軍の歴史は明治維新の時に始まり、更に近代海軍の創建は大正九年戰艦長門を、同十年姉妹艦陸奥をそれ／＼わが國に於て完成して建艦の獨立を見るに至つた日を以て稱すべきであるが、戰鬪に舟艇を利用した史實を遡るならば遠く神武創業の飾に遡ることが出來よう、浦安國（四海安寧の國）細戈千足國（軍備充實の國）とは古來わが國の別名であつた、海と河川とが人類にとつて殆ど唯一の交通路であつたことを

思 へば神武天皇の御東征が主として海路に據り給うたことも當然であつた、天皇の舟師は九州の北部から波靜かな瀬戸内海を東へ東へと進み日向御發向の日より數年の後漸く浪速に達し終に青山四周の大和に及ばれたのである、浪速に達し皇軍は更に海路を舟師を率ゐて南海熊野に上陸長髓彦を降して大和建國の大業を成就し給うた、この舟師と現代の海軍とは固より同日に談ずることは出來ないが『天皇の舟師』は即ち『天皇の海軍』であつた、皇國建軍の淵源は實にこゝに存した、歴史は之を以て帝國海軍の起原と稱するのである、神武創建の地たる大和の國都は青山四周六合の中心であるばかりでなく東方に伊勢灣、西方に大阪灣、北方に若狹灣を控へた要勝の地であつた、そして今一つには經營發展に海洋を利用し給はんとの深遠なる叡慮に他ならなかつたと拜察されるのである、即ち我等は肇國の日既に海洋發展がわが國是であつたことを識るのである、これよりのち崇神天皇の御宇、天皇は造船の詔を下し給ひ『船者天下之要用也、今海邊之民、由無船以甚苦步運、其令諸國俾造船舶』と仰せ

大 いに海洋發展を御奬勵になつた、偶々弁韓地方が救援をわが國に求めて來たとき天皇は鹽津乘彦（海軍提督）を遣はして難を救はしめ給うた、その結果そこに任那國が生れ、任那日本府が建設された

神功皇后の新羅征伐こそは堂々たるわが艦隊の渡洋進攻作戰であつたに相違ない、新羅王はわが艦隊の威容を望んで戰はずして屈し、次いで高麗、百濟もわが軍門に降つた、爾來約四百年わが國は西海の制海權を完全に掌握し朝鮮及び支那の文化を輸入して著しい發達を遂げた、これ實に制海權の賜に他ならないのである、然し大陸文化の浸潤によるわが國民の氣風弱化は海軍力の不振を來し神功皇后の渡洋進攻以來三百六十二年にしてつひに任那日本府は亡んだ推古天皇の御代には二回に亙つて新羅征討の艦隊が出動、また越後の國守阿倍比羅夫は前後三回舟師を率ゐて大陸に渡り今の南滿の遂りにまで兵を進めてその武威を誇つたが任那日本府の回復は成らなかつた、かくて次第に制海權を喪失していつたわが國は再び起ち上ることもなく數百年を小日本の鎖に暗黑時代に入つた、この時わが國民の頭上に一大鐵槌を加へたものが、元寇の國難である、國難は神風によつて撃退することが出來たが、元寇に刺戟されて國民の海洋精神は再び

勃 然として起つた、海へ海を制せよの聲は國内にみちそして國内に志を得ないものは遂に國足を海外に伸ばさんとして、茲に有名な倭寇が生れたのである、倭寇は海に挑んだ勇者であるが西洋史上ノルマン人の倭寇と相並んで、實に海洋史上の一大壯觀であり、朝鮮の沿岸はもとより支那に對しても北は山東地方から南は廣東地方、南洋方面にまでも進出した、考へてみるに倭寇といふ私的海軍が元寇の仇を報じ高麗は國力疲弊して滅亡し、また倭寇に備へん爲に發達した明及び李朝の海軍が後年秀吉の大陸政策を挫折させるなどの奇しき歴史的因果關係を織りなしてゐる、倭寇についてはとかくの評はあるがしかし國民の海洋精神を鼓舞し海外發展を促進した功績は大きく後に御朱印船は遙か南洋諸島、安南シヤムにまで渡航して貿易に從事してゐたのだ

祝賀の獻納金屬

ドシ／＼と武官府へ搬入

全半島を"海の兵へ"の感激に打ちふるはせる光榮ある海軍特別志願兵制發表の十二日、京城在勤海軍武官府には祝賀獻納部隊が次々に押し寄せ感激せしめたが、京畿道富平昭和町佐藤勝太郎氏は息子の賀郎氏と佛壇廿五箇、仙徳火鉢廿箇、その他佛具、鐵瓶、湯沸し等百點、合計百四十五點を車に積んで武官府を訪問、海軍志願兵制の感激を盛つて獻納したが、佐藤賀郎氏はつぎの如く感激しながら語つた【寫眞＝獻納品と佐藤氏】

富平に居る親父からトラックで府内旭町の自宅へ獻納品を屆けてきたので、機會をみて獻納する積りでゐました處けふ海軍特別志願兵制が發表されたのでこの機會に是非獻納したく持參しました、半島に初めて施かれる海軍志願兵制は陸軍志願兵制度やさきに發表された徵兵制と共にわれ／＼半島在住の内地人にとつても感激の極みです

火事【仁川】十一日午前五時廿分頃昭和町デーゼル自動車工場の炊事場より出火したので直ちに附近の警防團員が駈けつけ協力消火に努めたが同炊事場（木造平家建）を全燒して七時頃やつと鎭火した、損害約六萬五千圓原因は目下調査中

白金買上げ

六月一日から　三越で取扱

米英擊滅の至誠は燃えて鐵、銅、眞鍮製品の赤擧應召となりどしどし敵擊されてゐるが、白金の重要性はうとんぜられた形だが、戰時下に於けるその用途は鋭く白金の特質を利して航空機、無線通信機その他理化學器具として使用、又火藥や爆藥の製造には不可缺であり軍需品として絶對必要な處から大藏省、商工省の別働隊である戰時物資活用協會では總督府及び關係機關協力の下に來る六月一日から十日まで三越に係員出張、白金の節金買上げを行ふ

區域は京城府一圓、値段は政府で定められた公定價格、白金に附隨した金及銀も同時に買上げるもので裝身具又は被服附屬金具、花瓶、文房具、什器などどし／＼供出ありたいと

決戰大相撲夏場所　四日

西の三役總崩れ

【東京電話】前日の出羽湊、久々の巧者振りを見せて氣鋭の神風を破れば、老巧笠置も双見を一蹴、名寄を仕止めて前田を破つた綾昇またも大關を倒すなど『まだ／＼若いものには負けんよ』と西の仕度部屋では老練組の大氣焔、二瀨、相模と破れたのち豐島西関士俵に退つてこの日西の三役陣總崩れ、三日間勝つ拔しの結び雙昇に土がついて東西三役に全勝なし、力瀬伯仲の今場所兩軍三役陣の前途はいよ／＼多難、結びの一番東富士遂に安藝海に玉碎、敗れて悔なき闘ひのあと『すこしあせり過ぎたよ』と東の仕度部屋で自己の敗因を顧みる東富士、安藝海攻略に今後の精進を誓ふ、かくてこの日東軍十三點獲得通計五十二對四十とふたたび西軍を十二點引きはなす

中入後

五ツ海（つきだし）三根山	
大ノ森（よりきり）太平山	
琴錦（よりきり）朧ノ里	
照ノ海（打ちやり）十三錦	
若港（吊り出し）鹿嶋川	
綠國（うち掛け）武ノ里	
有明（寄り切り）八方山	
九ケ錦（上手投げ）龍王山	
清美川（寄り切り）常陸海	
櫻錦（押し出し）鷲巣山	
高津山（寄り切り）九州山	
大熊（寄り切り）松ノ里	
鹿島洋（寄り切り）柏戸	
增位山（つきだし）松浦潟	
出羽湊（引おとし）神風	
笠置山（よりきり）双見山	
備州山（つきだし）綾昇	
小松山（押し倒し）二瀨川	
鶴ケ嶺（つきだし）相模川	
青葉山（捻きこみ）豐島	
佐賀花（おしだし）肥州山	
前田山（下手捻り）陣東山	
綾昇（打ちやり）名寄岩	
羽黒山（よりきり）汐ノ海	
照國（より倒し）若湖	
双葉山（つりだし）若瀨川	
安藝海（下手投げ）東富士	

時間一ぱい、東猛然突きかければ安藝東土俵に詰つたが、安藝すばやく左差し右を淺く双差しの態勢となつて寄返す、東なほも一氣に寄立てれば安藝押られながらも東の力を十分利用して痛烈な下手投げを放ち綺麗に屠る

打出　五時二十三分
得點　東十三點　西十點
累計　東五十二點　西四十點

勝負

矢筈山（上手捻り）留門	
和歌海（より倒し）十勝岩	
相武山（おしだし）宇佐山	
岳岩（上手なげ）宮久錦	
玉櫻（よりきり）九州錦	
朝明（打ちやり）煞里錦	
大ノ海（下手なげ）因州山	
豐錦（つきだし）立田野	
和歌木山（おしだし）小戸岩	

大東亞佛教總會

【上海十二日同盟】共榮圏内の佛教徒を打つて一丸としもつて大東亞戰爭完遂に寄與するとともに佛教精神の興隆、救濟事業の推進をはからんとの目的の下に昨年末以來鋭意設立準備中であつた大東亞佛教總會は十一日午後三時より靜安寺において名譽總裁大谷光瑞師をはじめ日華各界の名士多數參列の下に盛大な成立式を擧行した

夏の衣服簡素化運動

【東京電話】新綠の五月もすでに半ば、うだる猛熱の夏の登場もすぐ間近かだが、今夏こそ男子なら『一人殘らず開襟シャツに半ズボンで』の國民運動が衣料も簡素化の決戰調に彩られて大々的に展開されることになつた、濕氣の多いわが國ではネクタイや長ズボンが如何に不向であり、衛生上よくないものかは十二分に思ひ知らされる上、決戰下國民生活の簡素化が喧傳され『衣』の上に最も大きい刷新が要求され、商工省でも目下その具體案を考究されてゐる際に衣料の節約のうへからも斷然今年こそ開襟シャツに半ズボンの決戰調で勝ち拔かうの聲が必然として擧つてゐる

美はしくも悲しい献納秘話
勇士に負けぬ乙女の氣魄
講演に感激して遺言にまで託す

喰ふか喰はれるかのこの戰局をどんなことがあつても勝ち拔かねばならぬと皇軍に寄せる二千五百萬半島の感謝は數々の美談を織りなし米英擊滅の魚雷と化する眞鍮や銅も連日山と献納されてあるとき、これはまた死に直面してまで献納すべき眞鍮器を純眞な乙女の胸に抱き〃しつかりやつて下さい〃と訣別の情を殘して他界した學園の乙女の涙ぐましい話が五月の空の下に香はしい話題となつてゐる

★★話は★★ 遡つて去る三月六日の地久節、京城梨花高女では緑旗聯盟婦人部長津田節子さんを講師に迎へ、時局講演會を開催したが壇上の津田さんは

日本が悠久の歴史を賭けたこの一戰を勝ち拔くためには物心両面の動員を必要とします、我々銃後國民は生活の不自由を我慢しても眞鍮や銅類を献納して一つでも多くの彈丸を第一線に送らなければ銃後の務めを果したとは申されません

と眞鍮類献納を強調した

この講演は全校生六百餘名に撃ちてし止まむの氣魄を昂揚させたのはもとよりであるが、そのうちでも徹底心に

★★胸を★★ 躍らしたのは四年松組延河和枝さん(一七)であつた

それから待望の春休みには咸南咸興府黄金町一ノ二二の兩親の膝下に歸り〃征けぬ身はせめて献納報國にでも〃と一錢銅貨や銀玉の蒐集に乙女の眞心を傾注した

やがて新學期の四月五日が近づき進學の希望と献納の喜びを夢見ながら登校の準備を急いでゐたところ、突然三月廿日心臟麻痺のため瀕死の狀態に陷つた、死に直面した和枝さんは兩親に向ひ〃わたしが死んだのちでも必ずこれは母校に送つて鬼畜米英を打ちのめす彈丸にしてくれることを約束して下さい〃と繰々しくも悲しい遺言を殘して儚なくも散つたのである

★★兩親★★ は愛娘の急死に逢ひながらも娘の遺志を守つて、眞鍮器二點に銀玉四個、一錢銅貨百五十七枚を母校へ送付の手續をとつてゐたが、半島海軍志願兵制度發表に感激沸上る十二日奇しくも同校へ届けられたのである、和枝さんの父親から同校宛書面には

このなかには必ず娘の魂が打ち込まれてをると思ひます、きつと娘の魂は米英を擊滅することと信じます

と書いてあつた、この思ひもよらぬ學友の魂を包んだ献納品は教職員はじめ全生徒の涙のうちに迎へられ辛島校長から献納秘話を聞いた全校生徒は感激の涙をしぼつたのである、なほ

★★同校★★ では和枝さんの魂やどる品々を廿七日の海軍記念日に同校生の持ち寄つた献納品に加へて海軍武官府を通じて献納することになつたが辛島校長は語る

一人の生命が打ち込まれたこの銅や錫が魚雷となればあの大きな米英の軍艦も忽ち擊滅されることゝ思ひます、和枝さんの死は戰ふ乙女教育の生きた教材となりました

なほ在學當時の級友新井敏子、金光富美子兩孃は

和枝さんは詩情が好きでした、或る時は小説等を書いて讀み聞かせるなど實に朗らかな友でありましたが……

とあとは淚で愛友の死を悲しむのであつた

【寫眞=圓内は延河和枝さんとその献納品】

本町署へ 〃感激の日〃十二日本町署の窓口を通じ『わが半島の海軍志願兵が實現をみる感激の印です』と府内永樂町二大石貞七氏がポンと五百圓を海軍へ献金したほか次のやうに赤誠の献金が寄託された

▲五百圓東四軒町四八ノ二高島亮七▲九十圓明治町二ノ二九銀嶺女子從業員一同▲十六圓四錢

學費を割いて 茶屋町一八七平山英子さん…は產業戰士として活動、夜は勉學してゐる昭和工科學校土木科一組と三組生一同は學資の一部を割いた十三圓六十錢を十二日本社を通じ陸軍へ國防献金した

返禮を廢して 清水町五六、逢坂東氏は十二日本社を通じ陸海軍へ各々五十圓づつ献金した、同百圓は長女の死亡で親戚友人から頂いた弔慰金の返禮を廢したもの

お祝ひに貰つた金を 阿峴町二一ノ八八、新木文雄氏は十二日卅圓を本社を通じ海軍へ國防献金した、右は先月一子を設け勤務の會社からお祝ひに貰つたもの

賞詞賞狀四たび
譽の森岡貞雄上等兵

府内永登浦出身、陸軍上等兵森岡貞雄君は昭和十三年五月出征、支那各地で赫々たる武勳を樹て十五年の暮れ歸還、間もなく再び應召、目下〇〇戰線で活躍中であるがその間所屬部隊長から

本人は出征以來終始一貫克く其の本分を全うしその行爲一般の模範たるに足る

と前後三回も賞詞をうけたが、今回又も賞狀を授與されたと朝鮮〇〇部隊長から同町總代宛通知があつた、留守宅には嚴父森岡作藏氏が七十の老軀ながら雜貨商を營んでゐる、吉報をもたらせば微笑しながら語る

町會には報せがあつたらしいが私のところにはまだ何の通知もありません、最近は便りも切れてゐるので元氣で奉公してゐるものと思つてをります、あれは獨り息子で五ツの時に母を失ひ私の手一つで育て上げたのですがお國に役立つやうになりお國に殉るなど父としても嬉しいです、私は年は取つてゐてもこの通り元氣で倅に負けぬ氣持で働いて居ります、唯よき死場所を選んで國恩に報い得るやうに念願してをります【寫眞=森岡上等兵】

一人殘らず見られたい
『纖維展』を讃へた小磯總督さん

從來顧みられなかつた雜纖維の利用、廢類等の新規活用によつて戰時下を乘切らうと朝鮮織物協會主催、總督府、朝鮮軍、海軍武官府、商工會議所、纖維需給調整協議會後援の『新興纖維活用展覽會』が十二日から十九日まで府内和信、丁子屋、三越、三中井四會場で開催、初日の十二日は小磯總督は上瀧殖產局長、小林秘書官と共に各會場を視察したが和信會場では蒲、杞柳、萩皮の繩などいちいち『これは何か』と質問を發して感心し、丁子屋會場では鮮產特別出品『シナノキ』の加工品や醫藥利用新製品に眼を瞑り

三越會場では廢の鉢植ゑの貨物を珍らしげに見學し又人毛の織物には全く驚いたらしく『白い布は白髮で出來たんだらう…』と諧謔を交へて滿場を笑はせ、第四會場三中井では植物纖維の原料、製造工程、製品、應用の各般に亘る出陳をみたが特に紙製の蚊帳、防空用バケツなど『これや素晴しい』と手に取つて讃嘆し『戰時下の新興纖維製品は國民の齊しく研究し實用化すべきもので、この意義ある展覽會は一人殘らず見られたい』と述べ正午歸廳した【寫眞=和信を視察の小磯總督】

不正配給品を買はぬやう
當局で業者に斷

決戰下、生活必需品の橫流れを阻止するとゝもに價賃違反を防ぐため各町會では京畿、京城府の肝煎りで各種生活必需品の配給を圓滑公正に實施、愛國班員の便宜を圖つてゐるが、最近各町會と連絡し全然當局の斡旋のない粗惡物資を配給品と稱し、これを公然と各愛國班に割當て押し付け配給を行ひ時局に便乘した不正小賣業者があることを探知した西大門署經濟係では調査の結果、府内某町會では某石鹸小賣業者と結託して使用不能な廢懸代用石鹸を當局斡旋の配給品と稱して各愛國班に配給切符を配り賣り捌いて不當な利得を貪つてゐたことが判明した、同係では今後かゝる惡德小賣業者を斷乎摘發して嚴罰に處するとともに町會並に各愛國班員に對して當局斡旋のないこの小賣業者の手に乘ぜられて迂闊に不正配給品を購入せぬやう注意を促してゐる

右につき十二日吉良經濟係主任は語る『町會の配給物資は必ず當局の斡旋によるもので各種生活必需品の配給に公平を期してゐるが最近この町會配給機構を奇貨として代用石鹸などの惡質な品物を配給品と詐つて町會と結託、無理矢理に愛國班に販賣不當利益を貪る小賣業者が現はれ一般に多大な迷惑を掛けてゐるので取締りを行つてゐるが、一般もこれが配給品であるか、どうかは品物によつて見分けがつくと思ふから不審の際は早刻經濟警察へ届け出て欲しい、斷乎たる處分をする』

戰ふ日本の姿
入選發表近し

創立卅六周年を記念して朝鮮金融組合聯合會では陸軍、海軍、朝鮮寫眞聯盟後援の下に『戰ふ日本の姿』と題する寫眞懸賞募集を行つてゐたが去月末を以て締切つた應募作品總計二百四十八點で今月中旬頃入選作を發表、なほ廿六日から卅日まで府内三越五階で展覽會を催し入選作及び選外佳作など百點を陳列展示する

梨花女專の行軍 初夏に鍛へようと梨花女專では十二日午前九時全校生徒が天城校長に引率されて城東驛前を出發、漢陰院往復行軍を行ひ同四時城東驛前で解散した

旭町教會感謝會 創立四十周年の記念日を迎へて京城旭町教會では十八日午後七時半から記念感謝會を擧行する

糧穀供出と割當
京畿道で臨時打合會

三百萬道民が決戰年度に處するため京畿道では十二日道廳で高知事統裁のもとに臨時府尹、郡守會議を開催した

高知事以下山本内務部長、關係各課長を初め京城、仁川、開城の三府尹、二十郡守、總督府より農政課長が列席、高知事の訓示に次いで一般道政につき協議の後重要議題である糧穀供出割當數量の打合に入り

一、各府郡に對する供出割當の基準となるべき糧穀の收穫は平年作收穫高に依るものとす

一、府郡は邑面に對し割當をなし邑面は從來の生產並に割當數量供出成績等の資料に基きこれを部落に割當、部落では常會を經て各農家に割當る

一、右割當數量は平年作を豫想せるものなるを以て其の年の豫想收穫高等より第一回豫想收穫高に基く確定割當の變更あること

一、本割當は六月十日迄に農家に對する割當を完了すること

等を骨子に審議打合した

騙されるな心の緩るみ

鍾路署司法係では數日來松浦主任指揮の下に全係員を動員、非常警戒網を張り、最近管内に橫行する醉つ拂ひの財布を狙ふ新手の不屆者を追求してゐる

この不屆者の一例を擧げると同署で取調中の苑西町四七前科一犯馬車挽山本順建(三七)は益善町七五前科一犯野崎武雄(三七)ほか一名と共謀、去る十日午後十時ころ勸農町八三先を泥醉して通行中の五十歲位の男に自宅まで護送すると稱して七圓五十錢入りの財布を掏り取つたのをはじめ前後五回に亘り醉客の財布掏取を働いたものであるが、同署では酒に醉つての大道漫步をつゝしむと共に不屆者に騙されないやう注意を喚起してゐる

買溜はせぬやう
京電 舊回數券は六月中は有効

京城府の年收百萬餘圓を見込む府民の足の負擔は六月一日からと決定してゐるが、京電では既に新乘車券の印刷も終つて待機してゐる、今回の税附新券は一區券、二區券共從來の色彩に多少變更を加へ、表記には乘車賃五錢或は八錢と税額一錢を別々に記入して識別をはつきりさせてゐる、又、回數券も同樣色替へを行つたが、税額は豫定通り八厘として剩餘額は四捨五入する

なほ實施に伴ふ舊回數券の使用は六月中有效とし、五月末日まで發賣するが、有效期間後は一切廢券となるので京電當事者ではこの際必要以上の回數券買溜など行はぬやう希望してゐる

火事なにものぞ〃隣組精神〃

愛國班に漲つた殊勳——

去る十日午前二時卅分ころ城北町一二六安心勝方の溫突から發火、火勢は急を告げたが、この危機を見付けた同町第二町會二組二班長江原繁氏は〃このときこそ日頃鍛へた腕で我々班員の働くときだ〃と直ちに班員廿餘名を呼び起し、女たちもモンペー姿も甲斐々々しく現場に馳せつけリレー式のバケツ運搬も鮮かに約廿分後見事消し止めたが、この麗しい隣組精神は町の感激を呼んでゐる

ラジオ 13日

朝 六・三〇 1『日本の船員』住田正一、2愛國詩(錄音)▲九・〇〇(城)一坪菜園案内『茄子、胡瓜、トマト仕立方會談』高橋光造ほか▲九・三〇(城)山菜の榮養と調理法(鮮語)豐山泰次▲一〇・〇〇『ワタシノオウチ』南櫻コドモ會▲一一・〇〇 四年生の時間朗讀『地鎮祭』國語放送研究會

晝 〇・三〇 1オルガン獨奏『ガボット二長調』ほか鳥居史忠 2合唱『日のむすび』ほか日本放送合唱團▲一・〇〇『若い牛』館野放送員▲二・〇〇朗讀 六年生の時間『采菜第』岡川典治ほか▲二・三〇(城)軍事用語講座 中川五十次▲三・〇〇大相撲夏場所實況中繼(五日目)▲四・〇〇教師の時間(實況中繼)『航空決戰と少國民教育』戸﨑徹▲五・〇〇報道(實況中繼)

夜 六・〇〇少年產業戰士の一日(錄音)▲六・二〇(城)今日の大相撲▲六・三〇(城)流言に惑ふ勿れ(鮮語)重光兌鉉▲七・三〇國民合唱『密林行』指揮伊藤武雄▲八・〇〇 1箏曲『末の契り』ほか今井慶松ほか 2講談『眞の武士』一龍齋貞丈▲九・〇〇(城)放送劇『更生一家』(鮮語)京城放送專屬劇團▲九・四〇(城)初步國語講座

大いなる祭【139】
中野實(作) 三芳悌吉(繪)

新しき任務 (十三)

(もう駄目だ)

彼女は絶望した。親方と呼ばれた艦長の命令で、入口といふ入口は、もう嚴重に警戒されてしまつたに違ひない。そのうちに燈がつけば、絶對に逃れる術はない。

手にしてゐる一挺の拳銃、最後の一發は、自分の運命を決するのだ。彼女は觀念した。

(しか、……)

ふと、彼女は故郷のことを思ひ出した。故郷の台灣は、今、彼女の力を……。胡はれてゐる。台灣を救ひたい……故郷の人たちを救ひたい……

突如。

ぐひと、彼女の手首をつかむものがある。

『あ!』

と思はず聲をあげると、

『しつ』

と、口をふさがれた。そのまゝぐひぐひと引つ張られてゆく。眞暗闇で誰かは知らぬが、今列席してゐた會員の一人であることに間違ひはない……

『誰だ』

と闇の中で誰何した者がある。

『三十七番』

と答へたのは、莘子の口をふさいでゐる男だ。

『三十七番……』

と怪しむやうに誰何した男は云つた。

『さう。こゝは鬪か』

『さうだ』

『開けてくれ』

『いけない』

『何故』

『親方の命令だ』

『親方の承諾は得た』

『そんなことはない』

『ほんたうだ。神に誓つて』

『では、こゝから親方に訊いて見るぞ』

『訊いてみてくれ』

『よし』

と入口を警戒してゐた男はいひ身動きするやうな氣配がした。

『待て』

それにしても、歐大慶がどうして、こゝへ現れたのか。また、その歐大慶が、何故、この場から、自分を救ひ出さうとするのであらうか。が、怪しの男は、一言も云はず、彼女の手をとつて、ひたむきに、水のぽたぽた落ちる地下道を走りつゞけた。

新刊紹介

▲印度支那民族誌(滿鐵東亞經濟調査局刊) 交錯された、多樣なる種族によつて構成されてゐる南方共榮圈に對する施策は特に周到なる科學的支持を俟たねばならない、本書はこの意味よりして、アジヤの誇るべき二大文明たる支那文明と印度文明の會交地域にして、更に十九世紀末よりはフランス征略による、新な異質的フランス文明の享受を要求された、安南人その他佛印諸民族の性向や慣習から民族史、文化、社會生活形態及び經濟生活の諸相に至るまで究明したもので、學術的にして大觀的なものである(三圓七〇錢、東京、赤坂葵町二、滿鐵東亞經濟調査局)

夕刊
京城日報

發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社

皇紀二千六百三年　昭和十八年五月十三日（木曜日）　京城日報　（市内版）　（明治卅九年九月十日第三種郵便物認可）　第一万二千七百七十號

海軍特別志願兵制新設

年内に豫備訓練開始

半島同胞の地位一段と前進

第二次世界大戰の渦中に在つて、東亜解放の光輝ある使命を達成すべく、帝國が東亜の總力を擧げて米英との一大決戰に臨まんとする秋、さきに徴兵制の實施を見た朝鮮において、今回またも海軍特別志願兵令が施行せらるゝに至り、大東亜戰爭に對する半島の任務と地位とは一段と昂められた、支那事變勃發の翌年たる昭和十三年二月廿三日、勅令第九十五號を以て陸軍特別志願兵令の公布を見るに至り、滿十七歳以上の半島青年にして規定の資格を有する者は陸軍特別志願兵訓練所の訓練を受けて皇軍の一翼に參加し、光榮ある大東亜建設の主力に馳せ參じたのである、帝國は遂に昭和十六年十二月八日、國運を賭して米英との一大決戰に出たのであつて、これに伴ひ昭和十七年五月八日の閣議に於て朝鮮同胞の徴兵制實施準備をなすことに決定、同九日情報局並に朝鮮總督府より發表した、この徴兵制の實施こそ實に日韓併合より卅三年、半島同胞が内鮮一體の實践に徹し、志願兵制度が良好なる實績を示して赤誠君國に報ずるの熱意旺盛なるに由つたものである、今回更に海軍特別志願兵令が公布せられ、朝鮮の青年がわが無敵海軍に參加するとは、内鮮一體の徹底を意味し、更に朝鮮が大東亜建設の主體として、益々自らの地位と役割を昂めつゝあるとの證左である

情報局發表　政府は十一日の閣議に於て朝鮮同胞及び臺灣同胞に就き海軍特別志願兵制を新設し、特別志願兵たるべき者の豫備訓練は昭和十八年度中に之を開始し得る如く準備を進むることに決定せり

情報局總裁談　滿洲事變、支那事變以來朝鮮同胞及び臺灣同胞の國民的自覺は頗に昂揚し熾烈なる兵役義務負擔の要望は澎湃として起り、特に今次大東亜戰爭の勃發を見るや、皇國臣民たるの自覺と矜持の下に其の愛國的至誠一段と昂揚せられつゝあるは幾多の事例に依り實證せらるゝ所である

政府は夙に昭和十三年陸軍特別志願兵制を朝鮮に實施し、次いで昭和十七年には臺灣にもこれを施行し、各々極めて良好なる成績を見つゝあり、又更に本年三月兵役法を改正して朝鮮同胞に對し徴兵制を施行し、昭和十九年度より之を徴集することとなるが、右の如き實情に鑑み、茲に海軍特別志願兵制度に付ても新設の機熟せるを認め其の準備を進むることに關し閣議決定を見たる次第である

想へ先輩血の研鑽

後藤鎭海警備府司令長官談

後藤鎭海警備府司令長官

今回半島同胞の海軍特別志願兵制が新設せられ、これが豫備訓練を昭和十八年度中に開始し得る如く諸般の準備が進めらるゝことに閣議の決定を見ましたることは、邦家の爲誠に慶賀に堪へない次第であります

朝鮮に於ける教育文化其の他の諸施設は近年大いに整備せられ、半島が帝國の國力増進に寄與すること誠に大なるものゝあることは内外齊しく認むるところでありま す、特に今回の支那事變、大東亜戰爭に際會し、半島同胞が或は直接戰線に或は間接に生産の増強其他に身命を捧げて従事し、帝國の使命完遂のため夫々その分に邁進しつゝあることは我々海上に職を奉ずるものゝ常に意を強うしてゐる所であります、朝鮮に於ける兵制に關しては、夙に陸軍特別志願兵制度を設けられ、更に明年度よりは徴兵制度を實施せらるゝ運びとなつたのでありますが、今回新に海軍特別志願兵制度が新設せられ、海に陸に國防の重任を果すことになりましたことは、我國々防史上特筆大書せらるべき重要事項であつて、實に感激に堪へない所であります

本職は此の機會に、新に海上において國防の重任を完うし得るの光榮を擔ふ半島同胞諸君に對し衷心の祝意を表すると共に、この際次の事項を銘記して頂きたいのであります、即ち諸君は我國史上未曾有の重大時局に際會して曾て見ざる重大使命を果すの光榮に浴するのであつて、その名譽は申す迄もない所でありますが、本制度の成果に對しては内外共に多大の關心を寄せてゐるのであります、従つて諸君の責任たるや實に重且大なるものがあるといはねばなりません、この重大なる使命を完遂せんが爲には一大決心を必要とするのであります、即ち今や我海軍は米英その他の大海軍を相手として赫々たる戰果を収めてをりますが、これは決して一朝一夕にして獲得せられたものではなく、我々の先輩同僚の多年に亘る血の出るやうな研鑽の賜であることを忘れてはならぬのであります、而も海上に於ける戰鬪は陸上の夫と趣きを異にする點が非常に多く、この點に於ても諸君の努力に俟つべきものが多々あるのであります、従つて此の新任務を完全に遂成せんが爲には尋常一樣の努力では到底及ばないのであります

本職は、半島青年諸君がこの際確固たる決意を以て我海軍の先輩同僚の遺したる光輝ある傳統を繼承し、帝國海軍の一員として大東亜戰爭完遂のため海上に於て活躍する日の一日も速かならんことを切に希望する次第であります

この榮譽と重責 國家の期待に應へよ

小磯總督談

小磯總督

五月十一日の閣議に於て『朝鮮同胞及び臺灣同胞に就き海軍特別志願兵制を新設し特別志願兵たるべき者の豫備訓練は昭和十八年度中に之を開始し得る如く準備を進むること』に關し閣議決定を見たのでありますが、惟ふに徴兵制施行の光榮に浴したる感激尚未だ新なるの秋、今茲に重ねて海軍特別志願兵制度施行の榮譽に接したる朝鮮同胞の感激は蓋し想像に餘りあるものと謂ふべく本總督亦此の吉報に接して欣快措く能はざるものがあります

抑々朝鮮同胞に對し昭和十三年陸軍特別志願兵制度施行せられ、踵いで昭和十九年度を期して徴兵制度を施行せらるゝに至つた所以のものは、申す迄もなく始政以來三十有餘年、朝鮮同胞が克く統治の根本精神を理解し、只管皇國臣民としての修練に努め、一視同仁の 聖旨を奉戴して皇國日本の理想たる八紘爲宇の聖業完遂に物心を擧げて貢獻し來れる愛國の至誠が天に通じたる結果に外ならないのであります

而して今や大東亜戰爭は緒戰以來赫々たる大勝の裡に一年有餘を經過し、既に我國は絶對不敗、磐石の戰略的態勢を確立し堂々と大東亜建設の歩武を進めつゝあることは洵に力強き限りでありますが、敵米英亦必死の努力を以て反擊を企てつゝあつて、戰局は日と共に苛烈凄愴なる決戰的段階に突入し前線銃後を問はず、聖國必勝の意氣を催む決戰態勢に寸毫の間隙あるを許さざる重大局面に際會してゐるのであります

此の秋に際り、朝鮮同胞に對し海軍特別志願兵制度施行せられて赫々たる光榮の歴史を誇る無敵皇國海軍の一員たるべき榮譽と責務とを分荷せしめらるゝこととなりましたのは、實に朝鮮同胞が大東亜戰下、直接海洋上の第一線に活躍し行くべき大なる期待を國家より掛けられるに至つたことに滿腔の感激を覺ゆるのみならず、朝鮮統治の理想が此の事に依り更に力強く事實の上に顯現せらるゝものと感佩せられるのでありましてその意義は統治上亦實に重大なるものあるを痛感するのであります

而してこの海軍特別志願兵制度はその豫備訓練を本年度より直ちに實施せらるゝのでありますが、朝鮮の同胞諸君は宜しく本制度の實施せらるゝに至つた縁由と之が精神を肝に銘じ、愈々皇國民的資質の錬成向上に更に一段の努力を傾け光榮ある皇國海軍々人として至誠盡忠の誠を捧ぐるに遺憾なき態勢に備ふる所あらん事を切望して已まない次第であります

皇民化に徹せよ

松本海軍武官談

松本海軍大佐

今般閣議に於て半島同胞に海軍特別志願兵制が新設せられ、その志願兵たるべき者の豫備訓練を昭和十八年度中に開始し得る如く準備を進むることに決定せられ發表を見るに至つたことは、皇國のため洵に慶賀に堪へざると共に、半島同胞各位に對し衷心より祝辭を申述ぶるものである、稽でこの機に於て本職は特に半島青少年諸君に對し二、三所懐を述べ各位の自覺並に海軍事情の再認識に資したいと思ふのである

第一諸君は皇威の廣大無邊なるに感佩し、常に光輝ある傳統の下赫々たる戰果を世界に顯示し來れる我帝國海軍の一員としての榮譽を享受し得るに至りたる幸福を思ふと同時に、今やこの決戰下第一線に立ち眞に皇國臣民としての責務を分任することに對し一段と自覺奮起せられ、益々心身の錬磨に精進せんことを切望するものである

第二は海軍の特質に鑑み、この際皇民化に徹するといふことである、海軍は海に、空に、陸に、廣汎多岐に亘り國防の第一線に立つものであるが、就中最も特長とする處は艦艇を以て常に我が家と心得ると同時に亦これが戰場であるといふことである、これがため

一、堅確なる精神の涵養を第一とすること　艦艇乘員は分隊され各自の持場に數名或は數十名、時には只の一名が分隊して配置に就き、自己の職責完遂に當るのであつて、其處には直接指揮を受ける上官の眼も屆かず各自自らの責任感一つで動き、それが直ちに一艦の戰鬪能力を左右することになり、上官は唯各種の通信機器を以て必要なる命令、號令を下すが、其の結果の正否は一に部下の報告に信頼する外ないのである、かゝる境地に立つが故に海軍軍人は旺盛なる犠牲的精神の下、至純至誠の心境にあつて克く職責の完遂に邁進するのであり、此の傳統的精神力こそ凡ての根幹をなすものである

二、海軍は科學性を多分に有すること　海軍艦艇は蒸氣、電氣、水力、空氣等を原動力としこれを縦横に活用しある近代科學精粹の合成體であり、且又一大精密機械工場たるの觀を呈して居る、故に、其の操作に當る乘員たる者は一下士官、一水兵と雖も緻密なる頭腦、敏捷果斷の資質の保有者たることが絶對に要請せられるのである、刻々變る指揮通信器の指針を眺めながら操作する一つの押釦、一つの把柄の取扱にして一歩を誤らんか其の結果は乾坤一擲敵擊滅の好機に必中の魚雷を無爲となし、全艦大砲の發射を無効ならしめ時としては一艦一部隊の運命を左右する等由々しき大事を惹起するのである、海上訓練の要諦は此の特質たる科學性を極度に發揮するに在り、軍艦こそ現今機甲化兵器の先頭であると申しても過言ではないのである

三、二六時中の緊張を要求すること　海上作戰に於ては晝夜に無差別なるべきは勿論、晝間と雖も屢々濃霧に咫尺を辨ぜず、吹雪に阻まれ怒濤に叩かれて狹き視界の中に敵が入り亂れ非常なる高速を以て絶えず相互の位置を變換しつゝ雌雄を決するのである、故に寸刻も忽せにすべからず、而して數秒の間に敵必殺の機の處置を講ずる要あり、隨て極度の緊張を要求する所以も亦合點し得るであらう、實に一艦一隊の運命が一水兵一瞬間の見張の勤怠に懸るとの實例が多々あつて東西古今の海戰史に幾多の事例を遺してゐる次第である

四、頑健なる體位を要求すること　何れの方面にも必要であらうが、特に海軍々人は常に大洋上を驅馳し、狂瀾怒濤に抗し天象氣象の激變に堪へ而も連綿不斷の對敵行動を取ることを特質とする、北は零下數十度に下るアリユーシャン列島より、南は數十度に昇る熱帶のニユーギニヤ、ソロモン諸島等の海洋を押し出し朝夕の間に轉戰移動することは今次戰爭に於て既に諸君の知る處である

五、機敏なる判斷力と熾烈なる敢闘精神を要請せらるゝこと　海戰は會敵前の敵情判斷に基く作戰計畫（之を戰略と云ふ）の適否が其の戰果の大半を決すると共に、會敵後錯雜微妙なる戰術運動の巧緻と數秒數分間に於ける乘員の敢闘精神、術力の練度科學技術の發揮如何が其の一半を左右するのである、上は提督、下は一水兵に至るまで各々其の分に應じ機敏なる判斷力の下、文字通り一糸亂れず最後迄で勝ち拔く敢闘精神を必要とするのである

以上は主なる海軍の特質を擧げ諸君が愈々海軍への入籍に際し心得べきことの一端を述べたのであるが、之を要するに海軍兵として要求せらるゝ資質とは

（1）責任觀念に透徹しあること
（2）『斃而後已』の靈魂と犠牲的精神の把持者たること
（3）強健比類なる體力保持者たること
（4）周到緻密なる頭腦を有し、然も果斷決行の意力を備ふる者なること

等が擧げられるのである、滿洲事變支那事變乃至今次大東亜戰を通じ今一つの特徴は現下帝國海軍の任務が獨り海上に止まらず空戰は勿論陸戰部門の擴大といふことである、空戰部門は同じ海軍兵とはいへ一般兵と養成の徑路を異にするものであるが、彼の有名なる上海特別陸戰隊をはじめ北は熱田、鳴神島、南は大鳥島、ニユーギニヤ島等數多の重要軍事據點の攻略に參加した陸戰隊は、特に陸戰兵として養成せられたものではなく、凡て前に述べた如き艦艇乘員中より臨時に編成されたるものであつて『海に強き者は陸にも強し』といふべきである、海軍兵と一概にいつてもその中には水兵、整備兵、機關兵、衛生兵、主計兵等あり、各配置職責に應じ夫々所要の教育を經、而もそれが何れも一技一能に通じた一粒選りの精兵でなければならぬことである

偖て前述の如き海の精兵たらんことを希求する半島青少年は、目下朝鮮地區に於て新設せられつゝある總督府海軍兵志願者訓練所に入所し、約六ケ月間の訓練を受けることになつてをり、その生徒募集・採用の手續きは從來の陸軍兵志願者訓練所の方法と近似して居るが、志願受付も最近の機會に發表される運びとなつてゐる

最後に志願者訓練所を修了して愈々海兵團に入團、海軍兵として陛下の股肱となるのであるが、入籍後の身上取扱、進級、服役等に關しては一般海軍兵と同樣なる取扱を受け本人の努力次第に依り成績優秀なる者は夫々洋々たる前途を開かれるとになつてゐる、この事に就いては近く關係勅令が發布せらるると思ふので、後日別の機會に於て詳しく説明することにしたいと考へてゐる、わが海軍としても立派な資質を具へた青少年が續々として入籍して來ることを樂しんで期待してゐる次第である

蹶然、更に奮起せよ

井原朝鮮軍參謀長談

井原朝鮮軍參謀長

朝鮮青年に對する海軍特別志願兵制度の採用が十一日決定しこれが發表を見るに至つたことは、大東亜戰爭下、洵に欣快に堪へない、對米英決戰に赫々たる戰果をあげ必勝の戰略態勢が太平洋の北に南に、將また支那大陸に擴充強化せられつゝある秋、破邪降魔の熾烈なる敵愾の意氣に燃ゆる朝鮮青年が選ばれて今また更に海の皇軍の一員となり 陛下の股肱として皇謨翼贊の聖戰に從ひ得ることは無上の榮譽であり欣喜であると思ふ、また今回の 御上の御英斷により、内鮮一億皇國民の總力を戰線と銃後とに結集して發揮すべき國民總進軍の決戰態勢を確立することになつたことは、完璧への一途に邁進しつゝある皇國として大東亜戰爭必勝の決意を宿敵米英に示すものであり、敵國陣營に對する巨いなる脅威となることは明かであるといはねばならぬ

惟ふに皇國の興廢を擔ふ大東亜戰爭の最も重大なるべき今日に於て、太平洋の護りに任ずる帝國海軍の名譽と責務とは實に今日より大なるはないのである、而して皇國を磐石の安きに置いた海軍先輩の遺烈を繼ぎ光榮ある海軍の傳統を承けていよいよ必勝の海軍魂を發揮し得るの光榮を朝鮮青年が擔ひ得ることとなつたことは御同慶に堪へない次第である

而して皇軍必勝の傳統と常勝の威力とは単に制度そのものに依るものではなく實に精到なる訓練、錬成に依つて培養されるのである、徴兵制施行を明年に控へ、今また海軍志願兵に採用さるゝに至つたこの秋に當り、宜しく軍官民は協力一致して青年錬成に力を致し、日本精神を體得徹底せしむべく、朝鮮青年また大東亜指導民族の一員として現戰爭の本質を克く認識し大東亜防衛、米英擊滅の爲に蹶然奮起せんことを心から望む次第である

台灣にも實施

長谷川總督談

内台一如の統治の大本に則り今回新たに海軍特別志願兵制度を本島に實施せられることゝなつた、すなはち本日朝鮮と共に台灣に海軍特別志願兵制を新設し、その豫備訓練は昭和十八年度中にこれを開始する目標の下に準備を進めることとなつたのである、さきに本島統治上一大轉機を劃した陸軍特別志願兵制度の實施以來、海軍におけるこの種制度の實現を熱望し、海軍の兵役に就くことを翼求する島民の熱意は漸次熾烈を加へ來つたのであるが、本制度の實施によつていよいよ帝國海軍の一員たるの榮譽を與へられんとするものであり、聖國の宏大無邊なるにひたすら恐懼感激に堪へざる次第である

本制度の實施を見るに至つた所以は、台灣統治以來四十有九年、軍官民一體となり畏くも一視同仁の聖旨を奉戴し銃後各般の施設經營に努め、國運の伸展に寄與し、殊に支那事變に引續き大東亜戰爭下において物心兩面にわたり島民の披瀝した赤誠がいよいよ白熱化しつゝあるのである

皇軍の精強は全世界の驚目瞠敬する所で、今や等しくその至上の榮譽を擔はんとするに至つたことは島民の幸福これに過ぐるものなく、まことに同慶に堪へざるところである、本制度の趣旨に鑑み感激興起、居常相戒め、皇軍の一員として恥かしからぬ錬成に努め患ってこれが結實に邁進しもつて皇恩の萬一に應へ奉らんことを切望する

道警察部長會議第二日

道警察部長會議第二日の十二日は午前八時半より本府第一會議室に於て開會、前日に引續き各部長の管内情況報告、警務局各課の指示注意事項あり正午休憩、田中政務總監招待午餐會に臨み、午後一時再開、井原朝鮮軍參謀長の指示事項、他局關係の注意希望事項を以て同五時會議の全日程を終了した、なほ十三日は午前中警内關係者のみ事務打合せ懇談を行ふ

海軍特別志願兵制度發表　發表するは江口總務局長（十二日總督府にて）

地方專賣局長會議

十三日から三日間開催

本年度地方專賣局長會議は明十三日から三日間にわたり招集される、第一日の十三日は午前七時出席會員が朝鮮神宮に參拝のゝち同八時半から總督府第一會議室において小磯總督臨場、伊藤專賣局長統裁のもとに會議を開催、小磯總督訓示、局長訓示あつてのち指示注意事項あり、午後一時からは會場を專賣局講堂に移して諮問答申に入り、十四、十五兩日も續行される、なほ會議閉會後、十六、十七兩日は神宮において錬成會を催す筈

總督府辭令（十日）

兼任高等海員審判所審判官（三）　（高等法院）判事　藤本香藏
鐵道局書記　岩城　競治
同　山本　眞定
同　宮崎　昇
任鐵道局事務官（七）　鐵道局技手　顯本　毅一
任鐵道局技師（七）　（馬山署長）司稅官　小川　潤
任稅務監督局事務官（六）大邱稅務監督局在勤を命す　稅務署屬　石村　隆司
任稅務監督局事務官（七）光州稅務監督局在勤を命す　（大邱）稅務監督局事務官　中川豐次郎
任司稅官補平壤稅務署長（六）　稅務監督局屬　去川　衛
任司稅官京城稅務署在勤を命す（七）　同　沖島與之助
任司稅官補群山稅務署長（七）　同　多久和德藏
任本府司稅官龍山稅務署在勤を命す（七）　司稅官補　平岩　學明
任司稅官補江界稅務署長（七）　（京城）稅務監督局技師　佐々木　東
任技師兼稅務監督局技師財務局勤務京城稅務監督局在勤を命す　（財務）本府技手　齋藤　晃
任稅務監督局技師（七）光州稅務監督局在勤を命す　稅務監督局技手　井上　勇吉
任稅務監督局技師大邱稅務監督局在勤を命す（七）　（羅津）稅關鑑査官　陶　久雄
任稅務監督局技師（七）京城稅務監督局在勤を命す
任穀物檢査所技手（七）　本府穀物檢査所技手　金崎　源吾
任本府癩療養所醫官（五）小鹿島更生園勤務を命す　（咸北）道技師　戸田瀧十郎
醫專試驗場囑託　松尾　國十
任道理事官（七）京畿道在勤を命す　浦上　英良
任道立醫院醫官（七）江原道在勤を命す　忠北道衛生技手　西川　正雄
咸北道衛生技師に任す　衛生技師に補す（八等）
（載寧署長）司稅官　村元　宏行
補金泉稅務署長　（北青署長）同　德富　尚韶
補載寧稅務署長　（金泉署長）同　川村　森市
補群山稅務署長　（群山署長）同　中島　光一
京城稅務署在勤を命す　（江界署長）同　林　繁勝
補統營稅務署長　（新義州）稅關監稅官　丸尾　治一
敍高等官六等　判事兼高等海員審判所審判官　岡部　剛一
免兼官　（學務）教學官　小出直三郎
（農林）技師　小旗　正虎
（平北）道技師　池上喜太雄
依願免本官（各道）　（咸北）衛生技師　浦上　英良
願に依り本職を免す

消息

◇丸山鶴吉氏（貴族院議員）十四日夜釜山發『ひかり』にて京城通過大連へ向行、廿日頃京城に寄城の豫定
◇桐地節夫氏（船水常務）十日大阪へ出張
◇信原聖氏（本府勅任事務官）江原道洞川方面出張中のところ十二日午後五時四十五分京城着歸任
◇鹽田正洪氏（本府鑛務局長）黃海、平北出張中、十一日夜歸任
◇上野武雄氏（同鑛政課長）全北地方出張中十日歸城
◇大矢知昇氏（帝國銀行常務）朝鮮金融團大會出席のため十一日入城朝鮮ホテル◇金子隆三氏（殖銀副頭取）同上◇本田秀夫氏（同大阪駐在理事）同上◇氏家武氏（大藏省國民貯蓄局長）同上十二日入城備前屋◇留屋正雄氏（同監理官）同上朝鮮ホテル◇荒川昌二氏（日銀理事）同上◇加藤貞國氏（安銀常務）同上◇卜部東次氏（三和銀行常務）同上◇今井卓雄氏（住友信託社長）同上◇大島堅造氏（住友銀行常務）同上◇君島一郎氏（鮮銀副總裁）同上◇中野正永氏（鮮銀北京駐在理事）同上十一日◇大村哲太郎氏（横濱正金銀行取締役）同上十三日◇笠井圓氏（滿洲中銀理事）同上◇岡田信氏（滿洲興銀總裁）同上天眞樓◇萩原三和明氏（關東局事務官）十二日入城半島ホテル